

INON

クローズアップレンズ

UCL-165LD

使用説明書

安全上のご注意

- ご使用前に「安全上のご注意」(本書)と別冊の使用説明書をよくお読みの上、正しく製品をお使い下さい。お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管して下さい。
- この注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止する為に、重要な内容を記載しています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。



警告

下記の注意事項を守らないと、**死亡**または**重傷**の原因となる可能性が想定されます

レンズ単体、または、レンズを付けたカメラで、太陽や強い光源を見ない

理由：視力に回復不可能な程の傷害をきたすおそれがあります。

理由：一時的な視力障害となり、安全に関わる作業の遂行が困難になるおそれがあります。

直射日光のあたる場所に放置しない

理由：太陽光が集光され、火災の原因となる恐れがあります。

INON

イン クローズアップレンズ UCL-165LD

イン製品のお買い上げ有難う御座います。

イン クローズアップレンズ UCL-165LD は、対応するデジタルカメラハウジングのポートレンズ前面に、弊社取り付けオプションを介して取り付けただけで、手軽に高倍率撮影が可能となる、水中脱着可能なアタッチメントレンズです。

取り付けには、ご使用のデジタルカメラハウジングに対応する 28LD マウントベースが別途必要となります。
AD マウントベース/28AD マウントベース/28AD ポート/M67 マウントベースなどへの取り付けには対応致しません。

製品の主な特徴

- 本製品の使用により、最短撮影距離が短縮される為、被写体に接近する事が出来、高倍率/近接撮影が可能となります。また、水陸両用設計ですので、水中/陸上どちらのご使用の際にも、同等の性能を発揮します。
- レンズ構成は 2 群 2 枚。両凸レンズ 1 枚構成の物と比べ、各収差を良好に押えました。また、内側に減反射コーティングが施された光学ガラスレンズを採用し、マスターレンズの性能を引き出します。
- 取り付け部規格には、パヨネット方式に着脱ロック機構をプラスした、**イン 28LD マウント**を採用。「28LD マウントベース」への簡便/迅速な着脱と、確実な固定とを両立しています
- レンズ前面の内側にジョイント用のネジが備わっており、イン M67 シリーズ クローズアップレンズ (「UCL-165M67」/「UCL-330」) を 1~複数個増設する事で、更なる近接撮影にも対応可能です。

製品内訳

- ・ クローズアップレンズ UCL-165LD 本体
- ・ レンズキャップ (カメラ側用×1)
- ・ レンズ内ゴースト緩和シール (同梱製品)
- ・ 使用説明書 (本書)

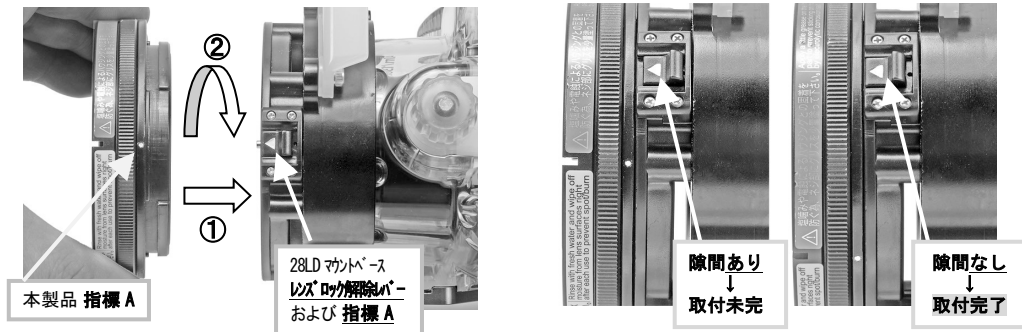
対応カメラハウジング

28LD マウントベース
(2011 年 4 月現在)

- ・ キヤノン WP-DC38 + イン 28LD マウントベース-DC38
- ・ パナソニック DMW-MCFT3 + イン 28LD マウントベース-MCFT3

取り付け方法

- ・ レンズキャップ (カメラ側用) を、本製品のカメラ側レンズに向かって反時計方向に回転させて外します。
- ・ その後、本製品の右画像矢印部分 (パヨネット材の入り口部分) 計 3 か所に、ハウジング付属のグリスを少量塗布します。
- ・ 本製品の『**指標 A**』を、「28LD マウントベース」のレンズロック解除レバーに刻印された『**指標 A**』と合わせ、差し込みます (①)。
- ・ 「28LD マウントベース」のレンズロック解除レバーが、差し込み前の位置に戻るまで、本製品の対物側レンズに向かって時計方向に回転させます (②)。『チャッ』と音がして、本製品の回転がロックされれば取り付け完了です



- ・ 本製品にイン M67 シリーズ クローズアップレンズを増設してご使用の場合、本製品前面のジョイント用ネジ (雌ネジ)、および M67 シリーズ クローズアップレンズの取り付けネジ (雄ネジ) 双方に、ハウジング付属のグリスを少量塗ります。「塩噛み」や「電蝕」による、本製品と M67 シリーズ クローズアップレンズとの固着を防ぐ為に、必ず行って下さい。
- ・ 併せて、増設する各 M67 シリーズ クローズアップレンズ 付属の使用説明書をご参照下さい。
- ・ ハウジング前面のレンズと本製品の間に入気が入らぬ様、水中で取り付けを行う、或いは、水中で一旦取り外し、取り付け直す事をお勧めします。

使用上の注意

- ・ 一般に、クローズアップレンズは、カメラの最短撮影距離を短く (マスターレンズとの合成焦点距離を短く) する為の物です。本製品を取り付ける事により、被写体に更に接近し、拡大して撮る事が出来る半面、画角、絞り値によっては、遠方の被写体にピントを合わせる事が出来なくなります。ご注意下さい。
- ・ また、カメラ単体での最短撮影距離が短い場合、本製品を取り付けた場合にも、カメラ単体でのご使用時より被写体に接近出来ず、『被写体を大きく撮影する』という効果が殆ど現れず、『最短撮影距離での撮影が不可能なズーム位置での撮影距離を短縮する』、或いは『カメラをマクロモードに設定する事なく、最短撮影距離を短縮する』といった効果のみとなる場合もあります。ご留意下さい。
- ・ ご使用後、レンズ面に水滴 (海水/真水共に) を残したまま放置したり、レンズキャップを取り付けたり、濡れたままの拭き取り等に行わないで下さい。コーティングやガラス自体の劣化による、曇り/ヤケ等の原因となります。軽度の曇り/ヤケは撮影に支障を来しません、重度の場合は問題となる可能性があり、修理をご希望の際には、有償でのレンズ交換となります。
- ・ 特に、環境温度が高く、レンズ面に残った水滴が直ぐに蒸発してしまう様な状況などでは、イクジット後に短時間放置しただけでも、重度の曇り/ヤケに発展する可能性が高く、十分な注意が必要です。
- ・ 使用ハウジング、撮影距離、画角等の撮影条件によっては、内蔵ストロボ光がケラれますので、外部ストロボを使用しない場合は、自然光のみでの撮影を行い、カメラ内蔵ストロボを“発光禁止”に設定する事をお勧めします。
- ・ 外部ストロボを使用した撮影を行う場合には、対応する外部ストロボ (弊社 D-2000 等) を、弊社「クリアフオシステム」を使用し接続する事をお勧めします。
- ・ クリアフオシステムを使用しない事により、撮影可能なシャッターに制限が生じたり、得られる画像に問題点が発生する場合があります。ご留意下さい。詳細は次頁末の囲み記事をご確認下さい。

(使用上の注意続き)

- ・ カメラレンズ 前面周辺部の反射に起因するフレア/ゴースト等につきましては、同梱の「レンズ 内ゴースト緩和シール」をご使用頂く事で緩和可能な場合があります。使用方法等詳細は、該シール付属の使用説明書をご参照下さい。
- ・ 本製品に増設可能なクロス アップ レンズ は、イン M67 シリーズ クロス アップ レンズ (「UCL-330」/「UCL-165M67」)のみとなります。本製品 (UCL-165LD) を増設する事は出来ません。
- ・ (M67 シリーズ クロス アップ レンズ を増設していない)本製品単体は、ズーム・中域からテレ側での水中使用にのみ対応しています。陸上使用時、および水中使用時のズーム・ワイド側では、得られる画像四隅がケラれます。なお、M67 シリーズ クロス アップ レンズ を増設する事で、ケラなく水中使用可能なズーム範囲は、(ズーム・テレ側に)狭まります。
- ・ 一般的にアタッチメントレンズ を複数重ねるに従い、徐々に画質が低下する事が知られています。
- ・ 本製品を分解しないで下さい。故障や浸水の原因となります。
- ・ ボートなどの激しい振動や大きな衝撃をレンズ に与えないで下さい。故障や浸水の原因となります。
- ・ 不用意に直射日光の当たる場所に放置しないで下さい。太陽光が集光され、火災の原因となる場合があります。また、レンズ を通して太陽を見ないで下さい。眼に損傷を受ける可能性があります。
- ・ 砂浜や船のデッキ上など、強い直射日光の当たる場所や、炎天下の自動車内など、高温となる場所に放置しないで下さい。故障や浸水の原因となります。
- ・ 脱着時や持ち運びの際、思わぬ衝撃等が加わる事を防止する為、オプションのキャリングポーチに収納して持ち運んで頂く事をお勧めします。

メンテナンスについて

- ・ ご使用後は、必ず「28LD マウントベース」から取り外し、真水中 (30℃以下)に数時間静置して塩分等を除いた後、イガロン等で水滴を吹き飛ばし、レンズ 面に水滴が残っていない事を確認した後、そのままの状態、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置き、よく乾燥させて下さい (完全乾燥には数日掛かります)。
- ・ 完全に乾燥させた後に、レンズ キャップ を取り付け、直射日光の当たらない、風通しの良い場所で保管して下さい。樟脳やワタリン等の薬品雰囲気下や、高湿度下、温度変化の激しい場所等での保管は、故障や浸水、レンズ 表面の変性や疵 の発生等の原因となりますので、お止め下さい。
- ・ レンズ 面に水滴を残したまま放置すると、シミ/ヤケ等の原因となります。ご注意下さい。

オプションについて

- ・ キャリングポーチ for UCL-330
ウェットスーツと同じ材質 レゴゴム製の、水中使用が可能なキャリングポーチです。当ポーチに収納したまま持ち運んで頂く事で、思わぬ衝撃等が加わる事を防止する事が出来ます。
- ・ LD レンズホルダー-W
- ・ LD レンズホルダー-S
- ・ LD レンズホルダー-フロントアーム用
イン アーム/フロントアームなどに本製品 (UCL-165LD) を取り付け可能とし、迅速なレンズ 交換をサポートする、28LD マウントレンズ 用のレンズホルダー。「AD-LD マウント交換リング for UCL-165AD」/「M67-LD マウント交換リング for UCL-330/165M67」を併用する事で、28LD マウント以外のクロス アップ レンズ の取り付けにも対応可能です。



株式会社 イノン

〒247-0061

神奈川県鎌倉市台 2-18-9

Tel. 0467-48-2174

Fax. 0467-48-2178

E-mail support@inon.co.jp

URL http://www.inon.co.jp/

イン クロス アップ レンズ	UCLシリーズ
主要性能 (※)	
タイプ	UCL-165LD
外径	φ 75.2mm
全長	21.9mm
マウント規格	イン28LDマウント
重量 (陸上 / 水中)	133g / 約72g
実用耐水深	60m
本体材質 / 表面処理	耐蝕アルミ合金/硬質黒アルマイト、PC
硝材 / 表面処理	光学ガラス / 内面減反射コーティング
光学系	2群2枚
焦点距離 (陸上 / 水中)	135.4mm / 165mm (※※)

※ 性能、価格等、予告なしに変更する場合があります。予めご了承下さい。

※※ UCL-165LD 単体の焦点距離。マスターレンズ との合成焦点距離を示すものではありません。

2022年12月

※ クリアフォトシステムを用いないで内蔵ストロボを発光させ、アタッチメントレンズ をご使用の際には・・・

クリアフォトシステムを用いずに、アタッチメントレンズ を取り付けられた状態で内蔵ストロボを発光させた場合、撮影条件、カメラ/ハウジング/マウントベースの組み合わせ等によっては、得られる画像にゴースト/フレアが発生する可能性があります。

この現象は、透明なハウジングを通過したり、レンズポート内部を通過したりした内蔵ストロボ光が、アタッチメントレンズのハウジング取り付け部側から進入/反射し、有害光として写り込む事に起因します。このような現象が発生する場合には、**クリアフォトシステムを用いた外部ストロボ増灯をお勧め致します。クリアフォトシステムを用いない内蔵ストロボのみでの撮影はお勧め致しません。**止むを得ずクリアフォトシステムを用いないで、内蔵ストロボを発光させた状態での撮影を行われる場合には、アタッチメントレンズ取り付け部側からの有害光の進入を防ぐ様、注意深く遮光を行う事により、ゴースト/フレアの発生を低減出来る可能性があります。ご検討下さい。[この遮光作業を行う場合の該作業内容、及び該作業を行った事により万一生じた不具合、或いは該不具合に起因した(直接的/付随的)損害が発生した場合に於いても、弊社は一切その責任を負いかねます。ユーザー様ご自身の「自己責任」での作業となる事をご確認下さい]